

日本スポーツマスターズ 2022 の本県開催決定について

1 日本スポーツマスターズ2022（にいまるにい）の概要

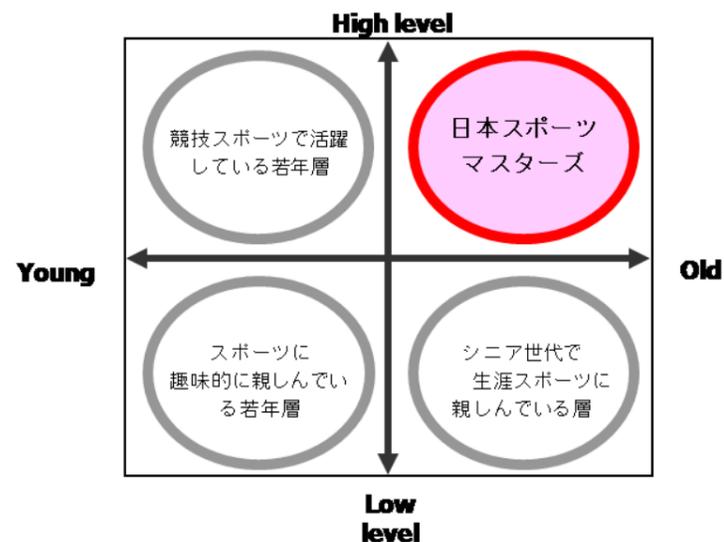
開催時期	令和4年（9月頃）
会期	5日間（開会式1日、競技会4日間）
実施競技 (13競技)	①水泳、②サッカー、③テニス、④バレーボール、 ⑤バスケットボール、⑥自転車競技、⑦ソフトテニス、 ⑧軟式野球、⑨ソフトボール、⑩バドミントン、 ⑪空手道、⑫ボウリング、⑬ゴルフ
参加資格	日本在住者、選手の年齢は原則35歳以上とし、競技毎に定める
参加人員	選手・監督等で約8,000人が参加予定
主催	公益財団法人日本スポーツ協会、岩手県、公益財団法人岩手県体育協会 (各競技会には、中央競技団体、開催市町村が加わる。)

2 本県開催決定までの経緯

- 令和元年10月2日 日本スポーツ協会から、本県での「日本スポーツマスターズ2022」の開催依頼
- 令和2年3月26日 県と県体育協会連名で、日本スポーツ協会に申請書を提出
- 5月8日 日本スポーツ協会第1回理事会のみなし決議（書面決議）の結果、2022年に開催する「日本スポーツマスターズ2022」の開催地として本県が決定
- 11月 日本スポーツ協会から岩手県へ開催決定書手交（予定）

3 大会の魅力

日本スポーツマスターズはかつてオリンピックや全日本の選手として活躍したトップアスリートと各地域で日々練習を重ねてきた選手が同じ舞台上で日本一をかけて戦うことができる大会です。



4 今後の主なスケジュール

令和2年度	7月～	関係競技団体、各市町村と連携し、大会会期、競技開催地の検討
	2月	日本スポーツマスターズ委員会（会場・大会会期等決定）
令和3年度	5月	岩手県実行委員会設立 機運醸成イベント①（先催県は300日前等に開催）
令和4年度	9月	機運醸成イベント②（先催県は100日前等に開催） 日本スポーツマスターズ2022いわて大会開催



【参考】 2020愛媛大会の中止について

(1) 愛媛大会の中止までの経緯

令和2年5月29日（金）に主催者である、公益財団法人日本スポーツ協会、愛媛県及び公益財団法人愛媛県スポーツ協会の三者による協議の結果、全国からの参加者はもとより、愛媛県民の安全と安心を確保する方策に万全を期することは極めて困難だと判断し、同大会を中止することを決定。

(2) その後の大会への影響

愛媛大会は延期ではなく、中止であり、2021（令和3）年の岡山大会、2022（令和4）年の岩手大会は予定通り実施となる見込み。



愛媛大会のパフレット